

第22回日本U19トライアスロン選手権

第22回日本U15トライアスロン選手権

山野健二

令和2年10月17日(土) 岐阜県海津市木曾三川公園(長良川)で、U19及びU15トライアスロン選手権が開催されました。長崎県からU19に寺田ひなたさん(長崎北高校1年) U15に増丸奈央さん(大村中学校2年)が出場しました。感染対策で例年に比べ厳しい



標準タイムが設定され、各カテゴリー30人定員でのレースです。U19は25.75km(スイム750m(1周)、バイク20km(5km×4周)、ラン5km(2.5km×2周))、U15は大会当日のコンディションが気温13.6度(14時)、水温18.9度のためデュアスロン(第1ラン1.25km、バイク10km、第2ラン2.5km)で実施されました。

大会前日の午後に会場入り、トランジッションの動線の確認、バイク・ランコースの試走などを行ないました。また想定外に水温が低く、U19の寺田さんは杉谷監督のウエットを借りて泳ぎました。

大会前日、トランジッションの確認。



大会前日、バイクコースを試走。下りからの左カーブをチェックする。

寺田さんのバイク。集団から後れ
単独走になったが最後まで粘り
の走りを見せた。

U19の寺田さんは22位/24人。
スイムは先頭からおよそ1分後れ、こ
こからバイクで追いつきたいところ
でしたが集団につくことができず、単



寺田さんのラン。レースで5キ
ロ走るのは初めてだったがい
いペースで走りきった。

独で我慢の走りとなりました。バイク
周回遅れのDNFを心配しましたが、
何とか逃げ切り無事完走できました。

U15の増丸さんは17位/30人。
第1ランを先頭集団で終えましたが
トランジションで出遅れ、またバイ

増丸さんのバイク。集団から
後れたが、寒い中ペースを落
とさず走れた。

クも集団についていけず順位を落と
しました。第2ランで順位を上げま
したが目標の表彰台には届かず。しか
し福岡のライバルたちに競り勝って
の九州1位は成長の証。



増丸さん得意のランで順位
を上げた。スイム・ランとも
にトップレベルの記録を持
つ。これから経験を積むと結
果がついてくる。



左から増丸さん、寺田さん、山野監督、杉谷監督。冷たい雨の中で、選手二人は辛いレースとなりました。来年は晴れてほしい！

今回明らかになったことは、ジュニアのバイクレベルが急激に上がっていることです。シニアでも勝負できるスキルやスピードを持たないとバイクで勝負できないことがわかりました。長崎のジュニア選手たちはスイミングの選手コース所属で平日は毎日スイム、バイク練習は日曜日のみです。この環境でどこまでバイクの力を伸ばせるか。



一方で、二人がU19・U15日本選手権に出場し完走することができたのは、彼女たちにとって、また彼女たちに続く後輩たちにとっても、さらに大きなチャレンジに向けての第一歩だと思います。

先輩の背中を見ながら練習をがんばっているジュニア選手たちが、2人のあとに続いて活躍することを期待しています。そして来年はコロナが終息し、たくさんの大会が開催されることを願っています。

最後に期待の選手を紹介しましょう。立命館大学1年白石怜佳さんです。U19選手権に出場し15位でした。長崎南高校卒で立命館大学トライアスロン部に所属し、今年から本格的にトライアスロンに取り組んでいます。今年1月の認定記録会でU19のJT



全国大会3連戦
がんばれ怜佳！

U強化指定選手となり、これから日本学生選手権（11/1）、日本選手権（11/8）と全国大会に出場します。白石さんの活躍については、U19含めて別に報告したいと思います。